



『東講商人鑑』とは

あずまこうあきんどかがみ
安政2年刊行／大城屋良助編
文教の杜ながい所蔵

安政2年（1855）に刊行された、商人や旅行者ためのガイドブック。「東講（あずまこう）」に加入している、東日本の宿屋やお店の一覧と城下や町の地図が掲載されている。近世後期、街道や舟運が整備され、旅行や商いが盛んになるが、まだまだ見知らぬ土地へ旅するのは大変なことだった。慣れない土地に旅をしても、旅人が安心できるようにと、江戸湯島の大城屋良助が発起人となって作られたのが、「東講」（旅行組合）である。持ち運びに便利のように、本の形状は横帳（よこちょう）という横長の本で、着物の袂（たもと）に入れやすいものとなっている。

現在の長井市中心部である、宮村・小出村の地図には、「宮駅鎮守正一位惣宮大明神（總宮神社）」と「亀ヶ森八幡宮」の間に野川が流れ、十日町から桐町（あらまち）の街道筋が描かれている。また、宮と小出の境には、「しゅもくばし（撞木橋）」や柵をめぐらせた松（宥日上人〈ゆうにちしょうにん〉ゆかりの松と伝わる）が見られる。



「東講商人鑑」（長井市提供）

長井の歴史を知る

長井市立図書館所蔵の書籍をご紹介します。



書名	編著者名	出版社、発行人	出版年	請求番号
長井市史 通史第一巻（以下続刊）	長井市史編纂委員会	長井市	H31.3.31	N21/ナ/1
長井市史資料 各論第一巻	長井市史編纂委員会	長井市	R2.3.31	N21/ナ/1
長井市史資料 各論第二巻	長井市史編纂委員会	長井市	R3.3.31	N21/ナ/2
長井市史資料 第12号 絵図	長井市史編さん委員会	長井市教育委員会	R3.3.31	N21/ナ/12
最上川舟運資料1 越後屋文書	安部 義彦	長井市古文書研究会	H23.1.22	N21/ア/1
最上川舟運資料2 川絵図に見る長井の船場	安部 義彦	長井市かわまちづくり 推進協議会	H23.9.30	N21/ア/2
近世最上川水運と西廻航路	横山 昭男	吉川弘文館	R2.5.10	N23.9/ヨ
舟場というところ	竹田 市太郎 藤原 民夫	舟場公民館	H4.9.28	N21/フ/2
ながい百話	長井市中央史談会 記念誌編集委員会	長井市中央史談会	H13.5.30	N21/ナ

順不同